

やまめ

146号

五木村議会だより 2023.10.31発行



中学生議会開かれる (令和5年9月26日)

- 子守唄の里五木村 子ども・子育て応援宣言 (9月定例会) P2
- 今、村政の最大の課題は何か (一般質問) P4 ~ 6
- 中学生議会を開催 P8

こんなことが
決まりました

令和5年第3回五木村議会定例会が、9月12日から15日までの4日間の日程で開かれた。上程された議案は、「報告」2件、「条例の一部改正」2件、「補正予算」3件、認定案件10件の計17件。

今回は、木下村長より、子どもと未来を育む「子守唄の里五木村 子ども・子育て応援宣言」として、子どもや子育て世帯を切れ目なく支援すると共に安心して子育て、教育ができる環境の充実を図ることで、子どもたちが未来に向かって、笑顔で健やかに成長できる五木村の実現に向け、全力で取り組むと宣言。これに伴い、「五木村子育て・定住支援条例の一部改正」、「五木村育英資金貸与基金条例の一部改正」も上程された。

一般会計補正予算では、道の駅に係る運営助成金等を計上。

一般質問は2日目に3名の議員が「新たな五木村振興計画関連」、「防災への対応」、「県道25号（宮原五木線）」等について質した。

また、今回は会期中に「決算認定審査特別委員会」（委員長：園田良治議員）を設置し、令和4年度の10会計の決算認定審査も行った。（9/13～14）

条例改正は、来年度開始までに協議を進めることとなった。

議案はすべて可決し、令和4年度決算も認定した。

— 第3回定例会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	園田良治	早田吉臣	中村俊也	川邊正美	田山淳士	藤本新一	西村久徳	審議結果
議案第64号 五木村子育て・定住支援条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第65号 五木村育英資金貸与基金条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 賛成多数
議案第66号 令和5年度五木村一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	×	原案可決 賛成多数
議案第67号 令和5年度五木村介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第68号 令和5年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

決算認定審査特別委員会

～令和4年度歳入歳出決算 10 会計とも認定～

令和4年度歳入歳出決算の一般会計と9つの特別会計について、今回は、9月定例会中に、決算認定審査特別委員会（委員長：園田良治議員）を設置し、9月13日と14日の2日間にわたり、木下村長、西教育長をはじめ、各担当課職員に出席をいただき、予算が適正に執行されているか、行政効果及び経済的効果が発揮されているか、補助金や交付金等予算どおり確保されているかなど、審査を行った。

各課から、令和4年度の主要な施策の成果の説明の後、それぞれの委員から「ふるさと納税の基金の管理や用途は」、「道の駅の経営状況なども決算書に載せるべきでは」、「健幸ポイントの効果は」、「商品券での経済効果は」などの質問があった。また、情報通信事業において、歳入不足を生じる事案があり、今後このようなことがないように予算管理を徹底するよう指摘した。

委員会では、これらを踏まえ検討した結果、一般会計を含む10会計すべてを下記の附帯意見を付けて認定した。

1. ひかり輝く新たな五木村振興計画が令和5年度から取り組まれているが、本村の振興、安全安心の確保など早期実現に向け、村民に見える形で進めること。
2. 特別会計においても、それぞれの基金が枯渇してきているので、事業の見直しを含め、機器等の更新・維持管理について検討し、国・県と協議をし財源確保に努めること。
3. 各種団体への補助や助成金等については、予算残が多く見られるため、精査し事業に見合った効果のある補助金等の執行を行うこと。
4. 今回の決算認定審査は例年より早く9月定例会会期中に行った。決算認定審査特別委員会での指摘事項や問題点等を令和6年度予算及び行政運営に十分反映し取り組まれること。

一般会計に 4,485 万 5,000 円を補正 第5回臨時会

工事請負契約2件

五木村ケーブルテレビセンター機器改修工事	169,400,000 円
五木村告知放送システム改修工事	82,500,000 円

令和5年7月13日に第5回臨時会が開催され、工事請負契約2件と、一般会計補正予算（4号）1件の3議案が提案された。

工事請負契約については、「五木村ケーブルテレビセンター機器改修工事」と「五木村告知放送システム改修工事」。一般会計補正予算は「物価高騰対応生活者支援交付補助金」、「林道・村道災害復旧測量業務委託料」に4,485万5,000円を補正し、すべて全会一致で可決した。

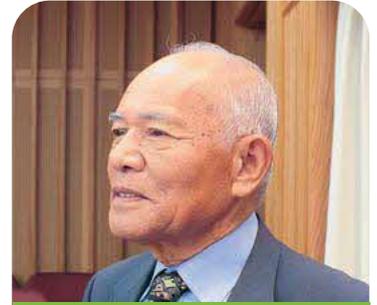
— 第5回臨時会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
議案 第61号	工事請負契約の締結について (五木村ケーブルテレビセンター機器改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第62号	工事請負契約の締結について (五木村告知放送システム改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第63号	令和5年度五木村一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

今、村政の最大の課題は何か

木下村長 村の存亡的危機である少子化・人口減少である



西村 久徳 議員

村政最大の課題について

質問 村政の最大の課題は何か。

村長 村の存亡的危機である少子化と人口減少である。

質問 本村は県下一の過疎化、少子高齢化となっているが、その対策と効果は。

村長 私が就任してからコロナや災害等もあり、その対応をしてきた。また、過疎化・少子化に歯止めをかける振興策も行ってきたが、まだ道半ばである。

国・県・村の三者協議による村づくりについて

質問 下流域を災害から守るため、ダム建設計画で村は計り知れない犠牲となる。知事は犠牲になる五木村に対し、五木村の振興は県政の最重要課題であると申され、国・県村の三者協議で振興策を図るとしているが、知事の本気度は。

村長 知事も責任を持って対応してくれると思う。

質問 三者協議の中に国・県が一緒になって五木村民が安心して住み続けられる村づくりとあるが、その具体策は。

村長 今、三者で協議し進めている。

質問 特に竹の川から上流の鶴、宮園、八重までの土砂の堆積は今までかつてない状況である。30年前に計画された五木ダムは既に水没者も移転し、工事用道路も出来ているので、一日も早く造るべきではないか。

村長 河川整備計画もの洪水調整施設と明記しており、土砂・流木対策も五木ダムに匹敵するような安全確保は必要と認識している。

質問 本村の面積は広く、急峻な山間地で大雨や台風時は道路も寸断され脅かされている。特に梶原川や入鴨、折立、平瀬、小鶴や平沢津方面など、早急な治山砂防ダムをと住民から強い要望もあるが。

村長 村民の皆さんから強い切実な声を聞いている。治山・砂防事業等関係者と連携して進めていきたい。

質問 振興計画の中に、「っひかり輝く新たな五木村」、「若者が集まる村」とある。実に立派な文面である。絵に描いた餅では困る。具体的な方策はどんなものか。

村長 「子守唄の里五木村 子ども・子育て応援宣言」をさせていただき、子育て世代への経済的な支援、結婚対策、所得の向上、移住定住対策など新たな振興計画を毎年見直しながら移住定住、人口増につながるよう頑張っていきたい。

ダム対策課長 施策をやれば人が集まる特効薬的な取り組みは難しい。

少子高齢化対策について

質問 県下一の少子高齢化であり、令和6年度には出生0（ゼロ）の予定で、正に村の存亡である。その対策は急務であると考えるが。

村長 結婚対策や子育て支援を図っていきたい。

質問 国道445号の改良、県道宮原五木線の改良、トンネル化の要望がある。主要道の一刻も早い改良工事に着手を。

村長 国、県に要望していく。

産業振興について

質問 これまでも様々な事業を行ってきたが、成功したものや失敗したものは。

産業振興課長 これまでその時々状況によっていろんな施策を練ってきた。この地域性を生かした新たなものやいろんな意見を聞きながら施策をしていきたい。

4年間の総括は

木下村長 新たな振興策に責任を持つ



早田 吉臣 議員

質問 台風6号接近の際、高齢者避難の発令があった。避難所開設の経緯はどの様に行われたのか。

総務課長 熊本気象台から情報を得て警報レベル3で高齢者避難を明るいうちに呼びかけを行った。

質問 避難所開設による行動指針の確認作業は行われたのか。

総務課長 五木村災害対策、避難所開設のマニュアルは作ってある。

質問 非常用発電機、非常食の確認作業は行ったのか。また不備な事象はなかったのか。

総務課長 村内6か所防災備蓄倉庫を設置している。野々

脇地区については、毎年行っている。他の備蓄倉庫は各分団にお願いしている。

質問 高齢者避難の住民への周知はどの様に行われたのか。

保健福祉課長 福祉避難所、五木の友・社会福祉協議会へ連絡し、一人暮らし、視覚障害者、特に介護度の高い方などの介護の必要な方への援助要請を行い車で送迎行う措置をしている。

質問 令和2年7月豪雨災害の時、地区での助け合い支援行動で助かった事がある。地区での避難を呼びかける活動を支援する事は出来ないのか。

村長 自主防災組織の活用を含め、タイムラインを作ったかどうかという提案を頂いている。

質問 台風6号接近により警報待機宿直手当が100万円計上されている。実際はどれくらい掛かったのか。

総務課長 6月29日からの

梅雨前線豪雨で勤務時間23時間、延べ46人、台風6号の時間が15時間勤務、延べ39人合わせて100万円弱掛かっている。

質問 対策本部のトップである村長不在時の対応はどうなっているのか。

総務課長 携帯電話で連絡、課長を中心とした災害警戒本部をつくり、その後、村長が帰庁、災害対策本部を設置となる。

質問 連絡が取れない場合を想定して副村長の設置などは、考えて来なかったのか。

村長 五木村の新たな振興策などを考えると議会の理解を得て設置を考えていきたい。

質問 避難所として伝承館は、適切なものか。検討はしないのか。

総務課長 避難所の数も含め今後、課題として検討したい。

質問 村長4年間の総括、を含め反省点は。

村長 新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨災害、熊本県知事の流水型ダムの流域治水変換など予期せぬ事柄の4年間であるが、新たな五木村振興計画ができたので責任を持って取り組みたい。



頭地地区に設置されている防災備蓄倉庫

重要振興策の県道25号大通りトンネルはその後どうなっているか

村長 県には要望している



田山 淳士 議員

質問 大通りトンネルの必要性については数か月前から要望しているが今までの経緯と今の考え方は。

村長 県には要望している、あとは返事を待っているところである。

質問 昨年の民間の調査会社の調査によると推計人口は880人位となっている。これ以上人口を減らさないためにも一日も早い大通りトンネルの開通をお願いしてほしいが。

村長 令和5年の実施計画の中でトンネルは検討すると書いてあるので県には早く検討の内容を村に報告するように求めている。

質問 グランドデザイン協議会はいつまで開催するのか。

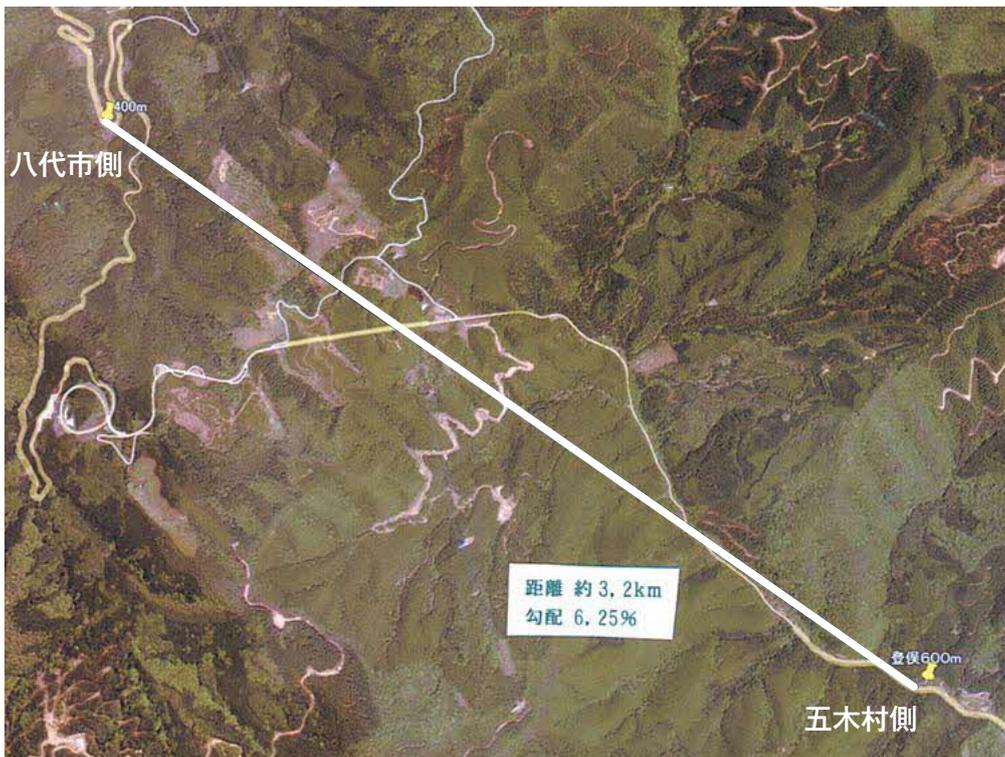
村長 現時点ではいつまでかは決まっていない。

質問 村には村づくりを協議する場合は、五木村再生総合行政審議員や議会にはダム対策特別委員会、さらには区長会などがあるがそういう組織ではたよりにならないのか。

村長 この協議会は住民の意見などを集約して私に届けてもらうということと今までの組織とは違う。

質問 このメンバーに議会からも2人程度は入れることはできないか。

村長 まずは今のところは住民に参加いただき議会と協議するという形を作っていく。



ここにトンネルを(田山議員提案)



委員会等報告

川辺川ダム対策調査特別委員会

～ “ひかり輝く” 新たな五木村振興計画の早期実現などを要望～

五木村議会は、木下村長と8月28日に、総務省へ「電気通信施設等の維持管理に関する要望」、国土交通省へ「“ひかり輝く” 新たな五木村振興の実現に向けた要望」を行った。

また、地元選出国會議員にも要望を行った。

金子恭之衆議院議員に同行いただいて、総務省では竹内総務審議官をはじめ担当局長、担当課長との面談、国土交通省では、和田事務次官、吉岡技官をはじめ担当局長、担当課長と直接面談し要望した。

国土交通省からは、「これまで五木村には川辺川ダム問題で長年にわたりご迷惑を掛けてきた。五木村振興についてはしっかりと取り組んでいきたい。」とお話がありました。

今後も引き続き、要望していきたいと考えております。



金子恭之衆議院議員への要望

【要望の要旨】

総務省：

地上デジタル放送以降から10年以上が経過し、機器の更新が必要となることから、地上デジタル難視聴地域で運営するケーブルテレビ事業等に対して、施設等の更新及び維持管理、運営費に対する財政支援措置の強化を要望。また、公設公営の電気通信施設の設置にあたっては、公益上の観点から民間の電柱等を利用した共架をすることとされているが、その費用負担が施設の維持管理に大きな負担となっているため、公設公営の施設に対する負担軽減など関係各社への働きかけを要望。



総務省への要望

国土交通省：

国、県とともに新たな振興計画を策定し、5月15日に三者で確認式を行ったが、以下の4点について要望を行い、今後の五木村振興計画の早期実現に向けて後押しを要望。



国土交通省への要望

- ①五木村振興に関する取組みの推進に必要な財源の確保等について
- ②早期の平場整備及び付け替え村道の工事再開について
- ③安全・安心の確保のための抜本的な対策について
- ④流水型ダムが環境等に与える影響に関する村民への説明について

中学生議会開催される

五木中学校3年生の6名が9月26日に開催された「中学生議会」で木下村長や西教育長、各担当課長へ質問した。中学生議会は昨年に続き2回目。

3年生の皆さんは、これまでに総合学習の一環として、五木村の歴史や文化、租税教室などでの学習や焼畑体験、村内での職場体験を踏まえ、村が抱える諸問題など自らの将来に向けての学習に取り組まれてきた。

まず、前半は、早田侑里さんが議長を務め、土屋漣議員、中村嵩之進議員、山内悠雅議員、後半は、土屋漣さんが議長、嶽本愛奈議員、森下彩香議員、早田侑里議員がそれぞれ感じている疑問や現状について質問、さらに自ら考えたアイデアなどを提案した。

質問は多岐にわたり、人口減少、教育、経済、観光、文化、情報発信、防災、地域振興、健康・福祉、川辺川ダム建設など。

最後に木下村長より、「皆さんが村の発展を真剣に考えていただいている。人口減少が進み、高齢化率も上がってきているが、若い人たちが夢と希望を叶えながら村で暮らしができるようにしていきたい。皆さんがこれからの担い手となって村を支えていただきたい。」と総括された。



答弁する木下村長

○主な質問や提案

- ・移住者を受け入れる体制とサポートはどのようにされているのか。
- ・五木の子守唄や太鼓踊り、棒踊りを村外で披露し、五木の伝統を知ってほしい。
- ・村の情報発信はSNSでどのように発信しているのか。焼畑などの動画を作成しPRしては。
- ・令和2年7月豪雨災害や今年の台風14号災害の道路等の復旧の目処は。
- ・県は洪水対策として宅地かさ上げや河道掘削などを提案しているが、村はどのような対策をするのか。
- ・子供が減少する中、以前、義務教育学校の話があったがどうなっているのか。
- ・去年の中学生議会で、修学旅行や夢フロンティア事業で視野を広めるため、国内だけでなく、海外への要望があったが、議論されたのか。
- ・五木の美しい自然を活かして、人の心を癒す効果もあるため、病院と老人ホームと保育園を合体させた施設を作ったらどうか。いろんなメリットがあり、雇用対策にもなるが。
- ・ICTを活用した診療や買い物支援を検討できないか。
- ・美しい自然を活かし、新たなアクティビティとしてジップラインを検討しては。
- ・川辺川ダムを造った場合の環境問題が不安。村へのメリット、デメリットは。

※質問の一部を抜粋し、要約しております。



質問する中学生議員



ふたごいし たくや
二子石 卓也さん (竹の川)

①自己紹介をお願いします。

春から合志市より移住してきた二子石 卓也 と申します。バイクに乗るのが好きなのですが、先日やらかしてしまい、修理を財布と相談しております(笑)。

②仕事(勤務先)について

役場等にポスターを貼らせていただいておりますが、カイロプラティックの整体をしております。また、スマホに関するご相談も受け付けておりますので、機械で

も体でもお気軽に声かけをしていただければと思います。

③五木村に住んでみてどうですか？

皆さんとてもお人柄が良く、楽しく暮らしております。

月や川などとてもキレイで心が嬉しくなります。

山道がツーリングするには丁度良い広さと道程で楽しいです。

せっかくですので、今までやったことのないことにも挑戦したいと考えております。

④最後に村や議会に望むことがあれば教えてください。

他所からの流入が増えるところみ問題等出てくるので観光誘致も良し悪しがありますが、春の見事な桜などもう少し村の素敵な所が広まると良いと思います。

議会の動き(7月~9月)

- 7月**
- 5日 定例全員協議会(全議員) 広報委員会(第2回)
 - 12日 広報委員会(第3回)
 - 13日 第5回議会臨時会(全議員) 定例郡議長会議(岡本議長)
 - 14日 ダム促進協・三期成会総会(岡本議長)
 - 19日 県監査委員臨時総会・研修会(田山監査委員)
 - 20日 例月監査(田山監査委員)
 - 21日 決算審査(田山監査委員)
 - 24日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全委員) 広報委員会(第4回)
 - 25日~27日 決算審査(田山監査委員)
 - 26日 県常任委員長・議運委員長研修会(各委員長)
 - 27日 県道五木湯前線期成会総会(中村副議長・川邊経済委員長)

- 8月**
- 1日 決算審査(田山監査委員)
 - 2日 定例全員協議会(全議員) 川辺川ダム対策調査特別委員会(全委員)
 - 7日 臨時全員協議会(全議員)
 - 8日 決算審査(田山監査委員)
 - 16日 決算審査(田山監査委員)
 - 17日 臨時全員協議会(全議員)
 - 18日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(田山議員)
 - 18日~19日 東日本五木ふるさと会設立総会(岡本議長)

- 9月**
- 21日 定例郡議長会議(岡本議長) 決算審査(田山監査委員) 人吉下球磨消防組合議会臨時会(川邊議員)
 - 22日 県正副議長研修会(岡本議長・中村副議長) 例月監査(田山監査委員)
 - 23日 決算審査意見書提出(田山監査委員)
 - 25日 人吉球磨広域行政組合議会定例会(田山・西村議員)
 - 27日~29日 議会要望及び視察研修会(各議員)

- 9月**
- 5日 議会運営委員会(各委員)
 - 6日 議会全員協議会(全議員)
 - 12日 議会運営委員会(各委員)
 - 12日~15日 第3回議会定例会(全議員)
 - 13日~14日 決算認定審査特別委員会(全委員)
 - 17日 敬老式典(各議員)
 - 19日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全委員)
 - 20日 例月監査(田山監査委員)
 - 22日 定例郡議長会議(岡本議長)
 - 26日 中学生議会(全議員) 川辺川ダム対策調査特別委員会(全委員)
 - 27日 人吉下球磨消防組合議会特別委員会(川邊議員)
 - 28日 子守唄の里五木G・G大会(各議員)
 - 28日~29日 人吉球磨広域行政組合議会視察研修会(田山・西村議員)

「蕎麦」

ソバ（蕎麦）
タデ科ソバ属（一年草）



古くから日本人に食されてきた「蕎麦」。おいしくて健康にもいいと注目されています。
見頃を迎えた村内の蕎麦の花です。可憐な白い花が絨毯のように咲き誇っています。蕎麦の花言葉には、「なつかしい思い出」、「喜びと悲しみ」、「あなたを救う」という言葉があります。11月1日の誕生花でもあるそうです。いよいよ新蕎麦の季節です。楽しみですね。

つぶやき

夏の猛暑も忘れるくらい、すっかり秋が深まってきました。山の木々も少しずつ色付き始めています。後2ヶ月で今年も終わろうとしています。

今年も日本の至る所で災害が発生しました。「想定外」という言葉を聞いて随分経ちますが「想定外」が普通のように起きているように感じます。

10月6日に町村議会議員研修があり、「これからの地震、水害にどう備える」という演題で講演をして頂きました。議員、議会の災害時の役割なども講演の中で話がありました。災害がない事が一番ですが、普段からの一人一人の防災力を高めることが大事なことだと思います。

川邊 正美

五木村議会広報委員会

- 委員長 田山 淳士
- 副委員長 園田 良治
- 委員 中村 俊也
- 委員 川邊 正美

表紙題字：故 尾方 芳郎氏

次回の定例会は12月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。